

平成 1 8 年度

苔による擁壁等コンクリート面
緑化技術に関する研究

報告書

平成 1 9 年 3 月

岐阜社会基盤研究所

(社) 岐阜県特殊工事技術協会

目次

第 1 章 はじめに

- 1・1 研究目的
- 1・2 研究組織
- 1・3 研究スケジュール

第 2 章 テーマ

苔の人工栽培を経て自然繁殖へ拡大の技術研究 ・ ・ ・ 16

第 3 章 （平成 19 年度に向けて）

苔の C o 面緑化マニュアル(案)の作成

第 1 章 はじめに

(目的) 岐阜県では自然共生型の川づくり研究が進められており、全国的に注目されていますが、近年、県発注工事において川に限らず、環境、景観に配慮して擁壁等コンクリート構造物の緑化を行うことが求められてきています。コンクリート面の緑化については、現在のところ、ツタや特殊な吹き付けによるものがほとんどでありこれらのものは擁壁面での保水性が確保できず、植物が枯れたりする現象や、既設のコンクリート面が植物に覆われることにより、この劣化状況が確認できないという実情もあります。苔は、本来条件が整えば、自然にコンクリート面に繁茂する植物で、四季を通じ緑である上に、寿命も百年単位の生物です。苔の生態系を研究し、条件をあたえて栽培を可能にするものの成果を得て、現在劣化しているコンクリート面やこれから新しく造る擁壁面の条件（水や光の環境）を整え、県内のコンクリート面の緑化事業を活発に推進し環境負荷の低減を図ることはまことに有効な手段と思います。

(組織) 岐阜大学応用生物科学部
(財)岐阜県建設研究センター研究部
(社)岐阜県特殊工事技術協会
自然共生技術委員会

(スケジュール)

- 平成17年度 ・ 苔の生態系の研究
 - ・ 現在 Co 面に繁殖している苔の種類及び自然環境の変化
 - ・ 人工栽培による繁殖環境の研究
- 平成18年度 ・ 苔の人口栽培を経て自然繁殖へ拡大の技術研究
- 平成19年度 ・ 苔の Co 面緑化マニュアル（案）の作成